

「尾崎一雄文学散歩と講演・朗読の会」ご案内

日時 令和 6 年 4 月 21 日（日） 午前 11 時～午後 4 時

会場 下曽我界限・「梅の里センター」（JR 御殿場線下曽我駅徒歩 1 分）

参加費 2000 円（第一部または第二部のみ参加でも 2000 円となります）

プログラム

第一部 「田代道彌さんと歩く尾崎一雄文学散歩」

集合 「梅の里センター」玄関前 10 時 40 分集合 11 時出発

コース 「梅の里センター」→尾崎一雄文学碑→尾崎家居宅跡→

尾崎家墓所→宗我神社→法輪寺→城前寺→「梅の里センター」

13 時着後昼食

※昼食は各自ご用意ください。（昼食会場 梅の里センター 2F）



第二部 講演・朗読の会

受付開始 13 時 「梅の里センター」1F

会場 「梅の里センター」2F 講堂（定員 130 名）

朗読 13:45～14:15

朗読作品 中野孝次著『晩年の尾崎一雄さん』

朗読者 本多 博さん（万華鏡朗読の会）

※朗読に併せ「曾我の風景」写真の映写を行います。

撮影 川嶋 良久さん

文学講演会 14:15～15:50

テーマ「尾崎一雄と小田原の文学を巡って」

講師 紅野 謙介氏

（日本文学研究者 日本大学文理学部名誉教授）

ご参加ご希望の方は同封はがきにご記入の上お申込み下さい。

締切 4 月 15 日（月）

＊お問い合わせ・ご連絡は下記まで

「小田原文学研究会」事務局 TEL 090-5409-7071（小泉） E-mail marito@connec.co.jp（熊谷）

1956年生まれ。麻布高校教諭を経て日本大学教授、同大文理学部長を務めた。専門は日本近代文学。高校国語教科書の編集にも携わってきた。著書に「職業としての大学人」「国語教育混迷する改革」「検閲と文学」「書物の近代」など。

2022年から創作和食「ごはん屋たまり」店主。伴侶の金井景子さん（早稲田大学教授・日本近現代文学、ジェンダー論）が女将（おかみ）を務める。

【小田原文学研究会設立趣意書】

「小田原と文学」の著者故石井富之助氏は。その序文で次のように述べています。

「小田原は明治以降、北村透谷、福田正夫、牧野信一、尾崎一雄、川崎長太郎、井上康文、藪田義雄、北原武夫など多くの文学者、作家を出していることは、美しい自然環境が豊かな感情を育む上において、大きな影響を与えていたのではないかと思う…」

そしてこれは郷土出身者にとどまらず、小田原に居住してこの地の風土を作品に反映させた北原白秋、三好達治、坂口安吾など多数の人々にも及んでいることが知られます。

さらに戦後から今日まで、小田原の文学を支えて多くの人たちの文学活動もあり、これらの業績も研究、発掘されなければなりません。

昨年2023年は、小田原出身の作家尾崎一雄の文化勲章受章45年、没後40年の節目を迎えました。私達はこれを機会に小田原の文学を回顧しその作者や作品をこれからの新しい世代の人々に伝え、顕彰し継承することが重要と考えています。

小田原の自然が織りなす固有の風土の中で生れた小田原の文学を末永く伝えることを目的として、おなじ信条を持つ方々のご賛同をお願いする次第です。

小田原文学研究会は、小田原市内外の有志のお力添えと、諸団体の協力を得ながら、おおむね次のような事業の展開を企図しています。

多数のご参加をいただきお力添えをお願い申し上げます。

1. 小田原出身または居住した文学者・作家の作品の研究と顕彰を行う事業。
2. 同上の資料の発掘と整理、保存。
3. その他本会の目的に沿った文学活動及び文芸的事業。

【小田原文学館一尾崎一雄関連展示のご案内】

尾崎一雄 没後41年

貴重資料特別公開

絶筆原稿「春寒」ほか

会期 令和6年3月19日（火）～5月12日（日）

会場 小田原文学館 本館1階展示室

小田原市南町2-3-4 TEL 0465-22-9881